

# 東近江市

DX (デジタル・トランスフォーメーション)

## 推進計画

令和5年度 事業の報告

令和6年3月

# 「東近江市DX推進計画」について

【計画期間】令和5年度～令和7年度



いつも、いまも、これからも。

- 第2次東近江市総合計画後期基本計画でまちづくりの基本方針としている「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指し、東近江市の具体的なDXの取組について定める計画
- 国が示す自治体DX推進計画に基づき、目指すべきデジタル社会のビジョン「デジタルの活用により、一人一人のニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化～」の実現に向け、東近江市において最適なDXを実現するための計画

## 基本方針

1 市民サービスの向上

2 新たな価値の創出による  
先進的なまちづくり

3 行政事務の効率化を推進

方針  
の  
実  
現

## 五つの事業区分

① 行政手続のオンライン化

② マイナンバーカードの利活用

③ GIS及び地理空間情報の活用

④ 市民目線のデジタル技術を活用

⑤ デジタルによる業務手法の改革

※「東近江市DX推進計画」について詳しく知りたい方は、【[東近江市 DX推進](#)】で検索してください。

# 東近江市LINE公式アカウントの機能拡充

① 手続  
オンライン化

② マイナカード  
活用

③ GIS  
活用

④ 市民目線  
デジタル活用

⑤ デジタル  
業務改革



## 概要

東近江市公式LINEアカウントのメニュー画面を利用動向や利用者の方からの声をもとに見直しを行います。

## これまでとの違い

必要な情報に、より素早く分かり易くアクセスが可能。

- メニュー画面を見直し、より見やすく、探しやすく
- 配信セグメントを刷新、より自分にあった情報がお手元に
- LINEによるオンラインで行える手続の拡大

## 令和5年度実績

- メニュー画面の変更
- セグメント配信設定の変更
- 「申請・予約」メニューの追加

⇒次年度も利用範囲を拡大



## <メニュー画面:変更前>



## <メニュー画面:変更後>



災害メニューを分かり易く

「申請・予約」メニューから各種手続がオンラインで可能に！

# SMS(ショートメッセージサービス)の活用

① 手続  
オンライン化

② マイナンバー  
カード活用

③ GIS  
活用

④ 市民目線  
デジタル活用

⑤ デジタル  
業務改革



## 概要

市民の方の多様なライフスタイルに合わせて、従来の郵便物や電話でのご連絡に加え、各種手続きの連絡手段として携帯電話やスマートフォンの電話番号にメッセージを送るSMS(ショートメッセージサービス)を利用した案内を行います。

## これまでとの違い

ライフスタイルに合わせて通知確認が可能に

- LINE等と異なり、アカウント登録することなく通知の受取が可能
- 電話と異なり、ご自身のペースで通知確認が可能
- 郵送と異なり、スピーディに情報を取得可能



## 令和5年度実績

- 子育て関連手続の一時連絡
  - マイナンバーカード受取
  - 健康診断未受診案内
- ⇒次年度も利用範囲を拡大

## マイナンバーカードの受け取り時の変更

マイナンバーカードの申請をされた方に、カードの発行準備が出来たことをSMSでも通知します。  
※従来は電話でご案内していました。



# デジタルデバイド対策(スマホ教室等)

① 手続  
オンライン化

② マイナカード  
活用

③ GIS  
活用

④ 市民目線  
デジタル活用

⑤ デジタル  
業務改革



## 概要

市内各地でのスマホ教室や、専用車両「スマサポ号」を導入した、スマホ教室を開催しました。  
また、小中学生を対象にSNSやオンラインゲーム利用についてのリテラシー教育を実施しました。

## これまでとの違い

- 会場の設備や収容人数に捉われず、  
スペースさえあれば、スマホ教室の開催が可能に
- 場所の制約が減り、要望があればどこでも開催可能
  - 駐車スペースの一角で開催でき、少人数でも開催可能
- ⇒より身近な場所でスマホ教室への参加を可能とした



講座

参加人数(累計)

市主催(高齢者等対象)

323

市主催(小中学生対象)

427

市協力(自治会等が実施)

184

eスポーツプロ選手  
との交流も



一部抜粋  
R6.2末時点

## 令和5年度実績

- 令和5年度は主催/共催を合わせて計64回開催し、750名以上が参加
- 令和4年度と比較して、開催件数を21回増加

## スマサポ号

スマートフォンの使い方をサポートする専用車両です。  
市内各地で、無料でスマホ教室を開催しました。



# 保育所等AI入所選考システムの活用

① 手続  
オンライン化

② マイナカード  
活用

③ GIS  
活用

④ 市民目線  
デジタル活用

⑤ デジタル  
業務改革



## 概要

複雑な条件(住まいや所得、兄妹の有無、ご希望など)を加味して判断が必要な保育所等の入所選考をAIを活用することで効率化。過去データをもとに人が行うのと遜色のない精度へと調整します。

## これまでとの違い

より素早く、正確な判断で入所者の不安を最小化

- ・ 複雑な計算に基づく定型作業はAIで効率化
- ・ 入所者の特殊事情などを踏まえ、人の眼で見直し

⇒ 人とAIで得意な作業をすみ分けることで、  
よりスピーディで正確な処理を実現



## 令和5年度実績

- ・ 令和6年度保育施設の入所申請判定(R5.10受付開始)  
※令和5年度は人の手による判定も併用。AIによる判定結果と照合し、システムの最終調整を実施。次年度からはAIが示す結果を基にした入所選考体制へ移行予定



本事業による取組は、入所申請から通知までを全て自動化するものではありません。



# ペーパーレス会議システムの活用

① 手続  
オンライン化

② マイナカード  
活用

③ GIS  
活用

④ 市民目線  
デジタル活用

⑤ デジタル  
業務改革



## 概要

タブレットとしても利用できる業務用パソコンの普及と、遠隔地との会議も想定した、リアルタイムに資料共有が可能な仕組の構築で、庁内会議や議会等でのペーパーレス会議システムの利用を促進します。

## これまでとの違い

会議準備にかかる時間を削減。環境にも考慮

- 持ち運び可能なタブレットの活用により、いつでもどこでも会議が可能
- 印刷コストと紙資源使用量を削減
- 資料準備にかかる時間を削減

<タブレット型PC端末>



<タブレット会議システム>

## 令和5年度実績

- 庁内部長会議等での利用開始(R5.9開始)
  - 市議会委員会協議会での利用開始(R5.11開始)
  - 市議会本会議等での全面利用開始(R6.3開始)
- ⇒次年度も利用範囲を拡大



削減した資料を印刷するコスト	620,460円
削減できた資料を準備する時間	4137時間
〃 コスト(人件費)	8,272,800円
削減できた資料を保管するスペース	25箱相当
〃 コスト(保管費)	4,468円

<参考>システムによる自動計測結果 ( R5.9-R6.2 )

# RPA※による定型事務処理の自動化

① 手続  
オンライン化

② マイナカード  
活用

③ GIS  
活用

④ 市民目線  
デジタル活用

⑤ デジタル  
業務改革



## 概要

RPA※システムの導入と活用により、繰り返し作業などの定型事務処理の一部自動化を実現し、市民サービスの向上につなげます。

## これまでとの違い

人手作業の置き換えが加速し、より政策的な業務にシフト

- 単純登録作業を自動化し、人間はチェックやイレギュラー処理に注力
  - 昼休みや夜間など人が作業できない時間帯にプログラムで処理が可能
  - Webサイトへの閲覧やダウンロード、システム操作など複雑な作業も代替可能
- ⇒ より素早く正確な処理や返信が可能に

## 実績と今後の予定

- 会計処理 執行解除処理
  - 会計処理 財務会計システムへの転記自動化
  - オンライン申請受付時の一次受付メッセージ(SMS)の配信など
- ⇒次年度も利用範囲を拡大



※ RPAとは「Robotic Process Automation」の略語で、パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のこと。

RPAはパソコン上で人が日常的に行っているマウス操作やキーボード入力などの操作手順を記録し、それを高速で正確に実行することが出来る。